

日本社会人団体馬術連盟

第16回JBGホースフェスティバル 2022 スプリング 大会プログラム

開 催 日 : 2022年6月19日(日)
開催場所 : 馬術苑中島トニアシュタール
主 催 : 日本社会人団体馬術連盟
協 賛 : レッキス工業株式会社

大会役員

大会会長	山口 昇
大会副会長	東 純一、宮川 一彦
大会委員長	久保 知之
審判長	大鳥井 浩一
審判員	小穴 幸子
救護看護師	周郷 裕子
競技委員長	岡野 裕之
大会運営スタッフ	ホースフェスティバル委員会 久保 知之、田原 孝幸、水田 貴、杉田 愛子、山田 龍祐、 岡野 裕之、浜松 秀明、碓井 滋敏、竹本 有希、宇佐美 暁 その他社馬連委員
記 録	丁野 梨沙
馬 匹 提 供	中島トニアシュタール
運 営 協 力	中島トニアシュタール ホースフェスティバル参加者各位

競技種目

■6月19日(日)

○開会式

第1競技 グリーンカップ 部班馬場馬術競技 速歩班 (会長賞対象競技)

第2競技 グリーンカップ 部班馬場馬術競技 駈歩班

第3競技 グリーンカップ JEF 馬場馬術競技 A2 課目 2013 (2022年更新版) (競技委員長賞対象競技)

第4競技 グリーンカップ ジムカーナ速歩班 (理事長賞対象競技)

第5競技 グリーンカップ ジムカーナ駈歩班

○閉会式 (表彰式)

競技ルール

◎すべての競技種目を貸与馬で実施する

◎騎乗馬は抽選で、運営委員会が事前に決定する

◎基準となる競技規程は次のとおりとする

- 日本馬術連盟競技会規程 第34版 (令和4年4月1日施行)

◎各種目の主なルールは次のとおりとする：

■部班馬場馬術競技について

○対象競技種目=第1競技～第2競技

◇社馬連グレード審査の部班採点表を用いる

- 騎手の姿勢、騎手の平衡、柔軟性、扶助操作、総合観察

※2名の審判員により、10段階評価 (最高点50点)で採点

◇服装(部班馬場馬術競技)

- 保護帽を着用する
- 上らはなるべく着用すること (義務ではない)
- キュロットは白でなくても構わない
- 長靴ではなく、チャップスでも構わない

※ただし、拍車及び鞭については、中島トニアシュタールの指示に従うこと

■馬場馬術競技について

○対象競技種目=第3競技 グリーンカップ JEF A2 課目 2013

◇日本馬術連盟競技会規程 第34版 (令和4年4月1日施行)を準用

- 馬の転倒、落馬、人馬転倒：失権
- 経路違反 : 1回目 0.5%減 (※)、2回目 1%減 (※)、3回目 失権

◇準備運動は5分とし、スチュワードの指示に従う

◇服装(JEF A2 課目 2013)

- 上らはなるべく着用すること (義務ではない)
- キュロットは白でなくても構わない
- 長靴以外は認めない (ゴム製可)
- 防護帽を着用する
- 拍車は可 (A2課目) で、鞭は不可

※ただし、拍車については、中島トニアシュタールの指示に従うこと

■ジムカーナについて

○対象競技種目=第4競技～第5競技

個人戦のみで、基準タイムに近い人が勝ちとする

- スラロームは決められた方向から進入し、間違えた場合はやり直さなければならない
- クロスバー障害がある場合、落下してもペナルティーはなし
- 基準タイムは当日の競技前の試走により審判員が決定する
- 基準タイムオーバーでも減点はないが、審判員が危険と見なした際は失権になる場合がある

◇服装(ジムカーナ競技)

- 自由(ただし、保護帽の着用は必要)
- プロテクターの着用を推奨する
- 拍車及び鞭は可 ただし、拍車及び鞭については、中島トニアシュタールの指示に従うこと

◇特別ルール

- 引き馬や声など、あらゆる技術的なサポートを認める
- ただし、競技タイムに関する具体的な声かけやサインは行わないこと

その他注意事項

◎昼食はお弁当を注文した人は、受け取る際にチェックリストにチェックする

- 食べ終わった容器は所定の位置に返却する
- 自分で持ってきたゴミは必ず持ち帰ること

◎駐車場、荷物置場など、施設の利用は大会本部の指示に従ってください

表彰

- ・ 出場人馬が12組までの競技は上位1/3までを入賞とする
- ・ 出場人馬が12組以上の競技は上位1/4までを入賞とする
- ・ 全競技3位までは入賞とする。

団体表彰

競技 NO	競技名	ポイント一覧		
		1位	2位	3位
1	グリーンカップ 部班馬場馬術競技 速歩班	3	2	1
2	グリーンカップ 部班馬場馬術競技 駈歩班	3	2	1
3	グリーンカップ JEF A2 課目 2013	3	2	1
4	グリーンカップ ジムカーナ競技 速歩班	3	2	1
5	グリーンカップ ジムカーナ競技 駈歩班	3	2	1

※社馬連の保有資格による係数

社馬連の資格無しの場合、通常ポイントの1/2とする。

また、非会員の場合は、紹介者の団体ポイントとする。

※部班競技は、速歩班、駈歩班、それぞれ総合順位に対しポイントを与える。

社会人の貸与馬戦の心得について

◇社会人 貸与馬戦の心得を守って、馬に愛情をもって騎乗する

社会人 貸与馬戦の心得に反する言動や騎乗が確認された場合は次回以降の出場を見合わせていただく場合があります。

社会人 貸与馬戦の心得

ウィークエンドライダーが中心の社会人にとって、誰が乗るかわからない競技に大切な馬を貸してくださる乗馬クラブや大学は、とてもありがたいものです。また、これらの馬がいなくなれば、我々の競技会は1試合も成り立ちません。皆様が、一戦一戦大切に乘ってくださることで、貸して下さる乗馬クラブや大学との繋がりも広がります。社会人だからこそ、皆様の良識と経験を頼りに競技会を開催しておりますが、以下の点につきまして特に皆様のご理解を頂きたいと思えます。

1. 馬を大切にしてください。

馬は、1回限りの使い捨て自転車ではありません。会ったこともない自分のために、力を尽くして競技してくれるのです。自分の馬と同じように扱い、丁寧に乗りましょう。その場の成績に目がくらんで、行き過ぎた騎乗をしないように気遣いましょう。

2. 貸して下さる団体の方に挨拶を。

参加費を払っていても、馬を借りることに変わりありません。馬にもそうですが、貸して下さる方にも、乗る前の「よろしくお願いします」乗った後の「ありがとうございました」の一言を忘れずに。競技の結果で挨拶が変わるようでは社会人の名が泣きます。

3. 馬の悪口を言わない。

競技はミズモノです。常に誰かが負け、誰かが勝ちます。原因はあなたかも知れないし、馬かも知れない。単に折り合いが悪いのかも知れないし、運が悪かったのかも知れない。どんな結果でも、次へつながるものへとしたいですね。「勝てば馬のせい、負ければ自分のせい」は全世界共通の馬乗りの基本です。ましてや、借りている馬に対し悪くいうのはもってのほか。品位を疑われてしまいます。

4. 最後まで面倒を見ましょう。

馬装を目の前でしていても前でぼーっと見ていたり、汗だらけの馬をそのまま渡したりせず、競技時間の許す限りは最優先で馬の面倒を見ましょう。どこの、誰の馬でも、その時に自分が乗ったら、手入れまでが自分の責任です。できない場合には、一言、やったださる方に断りましょう。「社会人に貸すと馬ピカピカにして返してくれるんだよね」こんな言葉がいつか聞けるといいですね。

お互いに気持ちよく、楽しく競技をしたい、というのは、共通の願いだと思います。社会人競技のこれからの発展のためにも、皆で協力していきましょう。一人一人の小さな行動が、社会人馬術の未来へつながっているのです。ご協力に心より感謝いたします。